

平成31年度 春の公民館講座・講演会・音楽会

- ① 春の開講記念講演会 指揮者 藤岡幸夫さんをむかえて 楽譜とステージの裏側の話 ～オーケストラをさらに楽しむ方法～
■日時 4月14日(日)午後2時
■会場音楽室
■定員 120名
■講師 指揮者 藤岡幸夫
- ② 「文化の歴史」
■日時<全6回> 4月25日(木)、5月23日(木)、6月27日(木)、7月25日(木)、8月22日(木)、9月26日(木)午前10時30分～ ■会場 市民センター401室
■定員 90名
■講師 園田学園名誉教授 田辺真人 ■受講料 2400円(6回分一括)
- ③ 「阪神間ゆかりの作家たち」4月 黒岩重吾 5月 林美美子 6月 陳舜臣
■日時<全3回> 4月11日(木)、5月9日(木)、6月13日(木)午前10時～
■会場 市民センター401室
■定員 90名
■講師 産経新聞編集局編集委員 石野伸子
■受講料 1200円(3回分一括)
- ④ 「世界はニュースだけではわからない」
■日時 4月27日(土)5月18日(土)6月15日(土)7月20日(土)8月17日(土)9月21日(土)午後2時～
■会場 市民センター 401室
■講師 初回 NPO法人運営「ニュースのタネ」編集長 立岩陽一郎
■受講料 2400円(6回分一括)
- ⑤ 「歴史を探る 戦国時代の闇をあばく」
■日時 4月4日(木)5月10日(金)6月7日(金)午前10時15分～
■会場 市民センター 401室
■講師 城郭・歴史研究家 菅原美文 ■受講料 1200円(3回分一括)
- ⑥ サイエンス講座 「元素の進化と変換」
■日時<全3回> 4月20日(土)、6月1日(土)、6月29日(土)午後2時～
■会場 市民センター401室
■定員 90名
■講師 東京大学大学院理学系研究科教授 櫻井 博儀 ■受講料 1200円(3回分一括)
- ⑦ 経済講座 「現代財政を考える」
■日時<全2回> 4月5日(金)、4月12日(金)午前10時～
■会場 市民センター401室
■講師 関西学院大学 学長補佐・経済学部教授 上村敏之 ■受講料 800円(2回分)

平成 31 年度 (2019 年度) 春の公民館講座

経済講座

現代財政

を考える

【概要】

今年の 10 月に消費税の税率が 10% になる予定です。多くの人が、消費税の増税は嫌だと思うでしょうが、なぜ消費税が増税になるのでしょうか。その背景には、財政の現状が関わっています。そもそも財政とは何でしょうか。普段の生活では、あまり財政について考えることはありませんが、私たちの生活に財政は欠かせないものなのです。この講演では、財政の基本と公共サービス、そして、租税の現状と課題について考えます。

各回：10:30~12:00

1

4/5 (金) 財政の基本と公共サービス

2

4/12 (金) 租税の現状と課題



上村 健之 (うえむら けんじ)

関西学院大学学長補佐・経済学部教授。

1972 年神戸生まれ。大阪府。関西学院大学経済学部卒、同大学院修了。博士 (経済学)。東海大学経済学部助教授を経て現職。現在、総務省地方財政研究会、内閣府推進出改革 WG、大阪府、兵庫県、奈良県、神戸市、西宮市、伊丹市、箕福山市の委員。日本財政学会理事、日本地方財政学会理事。著書に「税と社会保険負担の経済分析」(第 25 回租税資料発表) など多数。



①講座名 ②住所 ③氏名 ④電話番号 を記入のうえ、平成 31 年 3 月 18 日 (月) までに、備付け用紙、はがき、ファックスで公民館へ (応募多数のときは、市民優先のうえ抽選)。結果は、はがきでご連絡いたします。

宛先：〒659-0068 芦屋市業平町 8-24 芦屋市立公民館 FAX：31-4998 TEL：35-0700

定員：90 名

会場：市民センター 401 室

受講料：800 円

平成31年度（2019年度）春の公民館講座

定員 90名
1200円
(全3回分)

阪神間 ゆかりの作家たち

阪神間ゆかりの作家たちシリーズも3年目。今年も思いがけない方向から、ゆかりの作家の世界に迫る。例えば黒岩重吾。長く苦楽園に住んだ作家は、どん底生活で得た視線をどう作品に残したか。林芙美子の出世作「放浪記」には神戸も登場する。息長い人気を誇る芙美子の原点はどこにあるのか。陳舜臣は神戸を生涯離れなかったが、心は大きく世界に羽ばたいていた。歴史に翻弄された作家が後世に伝えたかったものとは、作品の中を探る。



4/11 (木)

5/9 (木)

6/13 (木)

午前10時00分～11時30分 401室

苦楽園

黒岩
重吾



神戸

林
芙美子



元町

陳
舜臣



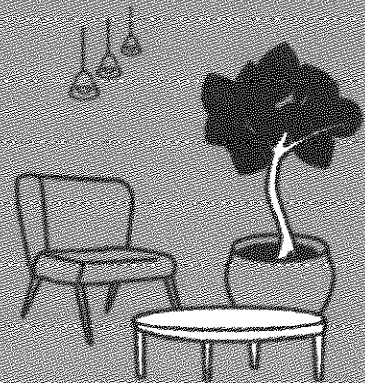
【講師】
石野 伸子

産経新聞編集局編集委員。1974年産経新聞大阪本社入社。文化部長、編集局次長などをへて現職。著書に「女50歳からの東京ぐらし」、共著に「九転び十起きの女 広岡浅子伝」（いずれも産経新聞出版）。2012年から産経新聞紙上で「浪花女を読み直す」を連載中。

申し込み方法

①講座名 ②住所 ③氏名 ④電話番号を記入のうえ、平成31年3月18日(月)までに、はがきかファックスで公民館へ（応募多数のときは、市民優先のうえ抽選）。結果は、はがきでご連絡いたします。

宛先：〒659-0068 芦屋市業平町8-24 芦屋市立公民館 FAX：31-4998



芦屋市立公民館 ☎35-0700

平成31年度（2019年度）公民館講座

春のサイエンス講座



元素の進化と変換

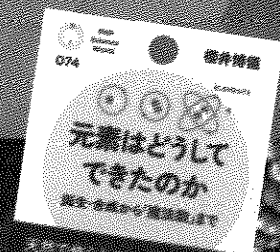
講演概要

日常生活のなかで目に映るすべてのものは、地上に存在する宇宙でつくられた元素によって形作られています。我々の世界を彩る元素はいかにして生まれ、また変わってゆくのか？人類は元素を自在につくり、変えることができるのか？

宇宙で営まれる「錬金術」の謎に迫る基礎研究とそれを支える地上での「錬金術」を紹介し、持続発展可能な社会を実現するための基礎科学の挑戦について講演します。

1
4/20
(土)

宇宙での元素進化



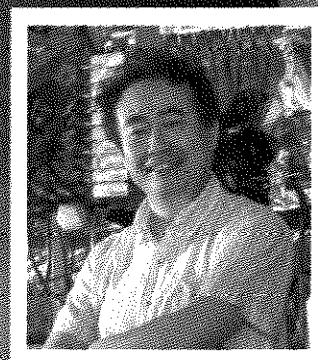
2
6/1
(土)

地上での「錬金術」

3
6/29
(土)

放射性物質の変換

各回 午後2時～3時30分



プロフィール： 講師：東京大学大学院理学系研究科教授 櫻井 博儀（さくらい ひろよし）
1963年 京都市生まれ、埼玉県出身、東京大学理学部物理学科卒業。同大学大学院物理学専攻博士課程修了後、同大学助教授などを経て、現在、東京大学教授、理化学研究所主任研究員。専門は原子核物理学。「RI ビームファクトリー」を利用した、宇宙での元素合成研究や放射性廃棄物処理研究などを行っている。
主な著書は『元素はどうしてできたのか』

①講座名 ②住所 ③氏名 ④電話番号 を記入の上、ハガキかファックスで、3月18日（月）までに公民館へ（応募者多数の場合は市民を優先の上、抽選）※結果はハガキでご連絡いたします。

【宛先】〒659-0068 芦屋市業平町8-24 芦屋市立公民館

主催：芦屋市立公民館 TEL：0797-35-0700 FAX：0797-31-4998

受講料：1200円
(3回分)
会場：401室
定員：90名